

・(6-1) 中央地区整備事業対策室所管事業

1. 中央地区整備事業対策室分（にぎわい交流ゾーン）
2. 中央地区整備事業対策室分（学びの杜ゾーン）

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

| | | | | | | | | |
|--------------|---|---|------------|--|------------|-----------------------|--------|--|
| 事務又は事業の名称 | | 中央地区整備事業対策室分(にぎわい交流ゾーン) | | | 所管 | 部 | 教育文化部 | |
| | | | | | 課 | 中央地区整備事業対策室 | | |
| 事業の概要 | 総合計画該当施策 | 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実 | | | 区分 | 重点プロジェクトⅢ 関連施策 | | |
| | 教育振興基本計画施策名 | 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備 | | | | 自治事務 ハード事業 補助事業 | | |
| | 行政改革推進項目 | 12 事務事業の業務内容の見直し | | | 事業の開始・終了年度 | | | |
| | | | | | 事業開始 | 平成26 | 年度 | |
| | | | | | 終了予定 | 平成30 | 年度 | |
| 実施根拠となる分野別計画 | 野々市市都市計画マスタープラン | | 根拠法令 | 該当なし | | | | |
| 事業の対象(誰が・誰に) | 野々市市が市民に | | 事業の目的 | ヒト・モノの交流によるにぎわい創出の場として、民間活力を活用して、以下の機能を集約し、一体的に整備する。 ・市民サークル等の活動拠点となる「新中央公民館」 ・市民と大学等との協働の拠点となる「大学連携拠点」 ・観光案内や特産品販売の拠点となる「商業施設」 | | | | |
| 事業の内容 | 施設整備にあたり、民間資金やノウハウを活用する手法として「PFI法を適用したBTM方式」を採用し、事業主体となる民間事業者を決定する。 事業者を決定するにあたり、専門業者(アドバイザー)の支援を受けながら、諸手続きを行う。 ※PFI法・・・民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 | | 平成29年度活動実績 | PFI事業契約に定めるところの諸手続きを実施 ・事業者との関係会議の開催 ・新中央公民館等複合施設設計業務完了 ・老朽既存建物解体撤去完了 ・新中央公民館等複合施設整備を開始(起工式挙行) | | | | |
| 事業の指標 | 種別 | 指標の名称 | 単位 | 最終目標値 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | 成果指標 | (成果指標になじまない) | ** | ** | ** | ** | ** | |
| 事業のコスト | 事業費 | 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度予算 | | | |
| | | 国庫支出金(千円) | 0 | 0 | 552,360 | | | |
| | | 県支出金(千円) | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 地方債(千円) | 0 | 84,600 | 956,700 | | | |
| | | その他(千円) | 0 | 0 | 495 | | | |
| | | 一般財源(千円) | 16,573 | 84,712 | 144,793 | | | |
| | 事業費計(千円) | 16,573 | 169,312 | 1,654,348 | | | | |

実施計画

| | | | | |
|------|------------------|--------------------------|----------|----------|
| 年度計画 | 区分 | 平成31年度計画 | 平成32年度計画 | 平成33年度計画 |
| | 今後3箇年の展開 | ↓ | ↓ | ↓ |
| | 実施計画(今後3箇年の活動内容) | ・施設整備後の管理運営は社会教育振興費に引き継ぐ | | |

自己評価

| | | | | | |
|------|------------------|---------|---|----|---|
| 自己評価 | 前年度自己評価 | 次年度の方向性 | A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中) | 理由 | 本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指している。今回整備する施設は、かねてより望まれていた老朽化した中央公民館の建替えのみならず、その機能拡充を図ることにより、にぎわい創出の拠点となるものであり、国の交付金や民間のノウハウを有効に活用して事業に取り組んでいく。平成31年4月に新中央公民館等複合施設の開館を目指す。 |
| | A | A | | | |
| 改善点 | 今後の改善事項(ニーズ・課題等) | | 本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指している。今回整備する施設は、かねてより望まれていた老朽化した中央公民館の建替えのみならず、その機能拡充を図ることにより、にぎわい創出の拠点となるものであり、国の交付金や民間のノウハウを有効に活用して事業に取り組んでいく。平成31年4月に新中央公民館等複合施設の開館を目指す。 | | |

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

| | | | | | | | | |
|-----------|---|---|------------|---|--|-------------|------------------------------|--------|
| 事務又は事業の名称 | | 中央地区整備事業対策室分(学びの杜ゾーン) | | | 所管 | 部 | 教育文化部 | |
| | | | | | 課 | 中央地区整備事業対策室 | | |
| 事業の概要 | 総合計画該当施策 | 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実 | | 重点プロジェクトⅢ 関連施策 | 区分 | 自治事務 | | |
| | 教育振興基本計画施策名 | 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備 | | | | ハード事業 | | |
| | 行政改革推進項目 | 12 事務事業の業務内容の見直し | | 事業の開始・終了年度 | | | 事業開始 平成28 年度 終了予定 平成30 年度 | |
| | 実施根拠となる分野別計画 | 野々市市都市計画マスタープラン | | 根拠法令 | 該当なし | | | |
| | 事業の対象(誰が・誰に) | 野々市市が市民に | | 事業の目的 | 学習・文化・芸術に親しむ場として、民間活力を活用して、文化交流拠点施設(市立図書館及び市民学習センター)を整備する。 | | | |
| 事業の内容 | 施設整備にあたり、民間資金やノウハウを活用する手法として「PFI法を適用したBTO方式」を採用し、事業主体となる民間事業者を決定する。 施設整備、維持管理、運営の業務を実施する民間事業者に対するモニタリングを実施する。 ※PFI法…民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 | | 平成29年度活動実績 | PFI事業契約に定めるところの諸手続きを実施・文化交流拠点施設「学びの杜のいちカレード」の竣工及び開館 | | | | |
| 事業の指標 | 種別 | 指標の名称 | | 単位 | 最終目標値 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 成果指標 | (成果指標になじまない) | | - | - | - | - | - |
| 事業のコスト | 事業費 | 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度予算 | | | |
| | | 国庫支出金 (千円) | 0 | 1,327,200 | 0 | | | |
| | | 県支出金 (千円) | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 地方債 (千円) | 0 | 1,411,800 | 0 | | | |
| | | その他 (千円) | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 一般財源 (千円) | 336 | 364,254 | 0 | | | |
| | | 事業費計 (千円) | 336 | 3,103,254 | 0 | | | |

実施計画

| | | | | |
|------|------------------|--|----------|----------|
| 年度計画 | 区分 | 平成31年度計画 | 平成32年度計画 | 平成33年度計画 |
| | 今後3箇年の展開 | ↓ | ↓ | ↓ |
| | 実施計画(今後3箇年の活動内容) | 「学びの杜のいちカレード」施設整備が完了したため、平成30年度以降、施設管理運営は図書館費に引き継ぐ | | |

自己評価

| | | | | | |
|------|------------------|--|---|----|--|
| 自己評価 | 前年度自己評価 | 次年度の方向性 | A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中) | 理由 | 本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じ、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指し、市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働のシンボルとする「学びの杜のいちカレード」(新市立図書館、市民学習センター)を平成29年11月に開館した。施設整備は終了し、今後の施設管理運営は、生涯学習課が所管する図書館費に引き継ぐこととする。 |
| | A | E | | | |
| 改善点 | 今後の改善事項(ニーズ・課題等) | 本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じ、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指し、市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働のシンボルとする「学びの杜のいちカレード」(新市立図書館、市民学習センター)を平成29年11月に開館した。施設整備は終了し、今後の施設管理運営は、生涯学習課が所管する図書館費に引き継ぐこととする。 | | | |

・(6-2) 学識経験者からの意見

新しい中央公民館が旧中心市街地である北国街道の賑わい創出の拠点となる施設となることを期待したいです。そのために市役所内の各課横断的な取り組み、民間のノウハウの有効な活用と市民のアイディアを活かした市民協働のまちづくりに期待したいと思います。ハード面はもちろん、ハード面を活かすソフト面の充実にも期待します。

新中央公民館等複合施設整備を開始し、工事の事故もなく経過されていることに懸命さが受け取られます。

今後、完成まで安全管理に手を抜くことなく進められることを希望します。

学びの杜ののいちカレードがオープンして、利用者からの要望や施設の不具合がないか投書箱等を設置して、市民等の意見を聞くのも良いかと思えます。

また、それが新中央公民館等複合施設の助言となるかも知れません。

・(6-3) 今後の方針

- ① 新中央公民館等複合施設の平成31年4月の開館を目指します。多くの市民が施設を活用し、市民協働のまちづくりと地域における様々な市民活動の振興が図られ、ヒト・モノが交流し賑わいが創出される場となるように努めていきます。
- ② 「学びの杜ののいちカレード」につきましては、利用者のニーズを把握しながら、より一層の利用促進が図られるようにサービスの向上に努めていきます。

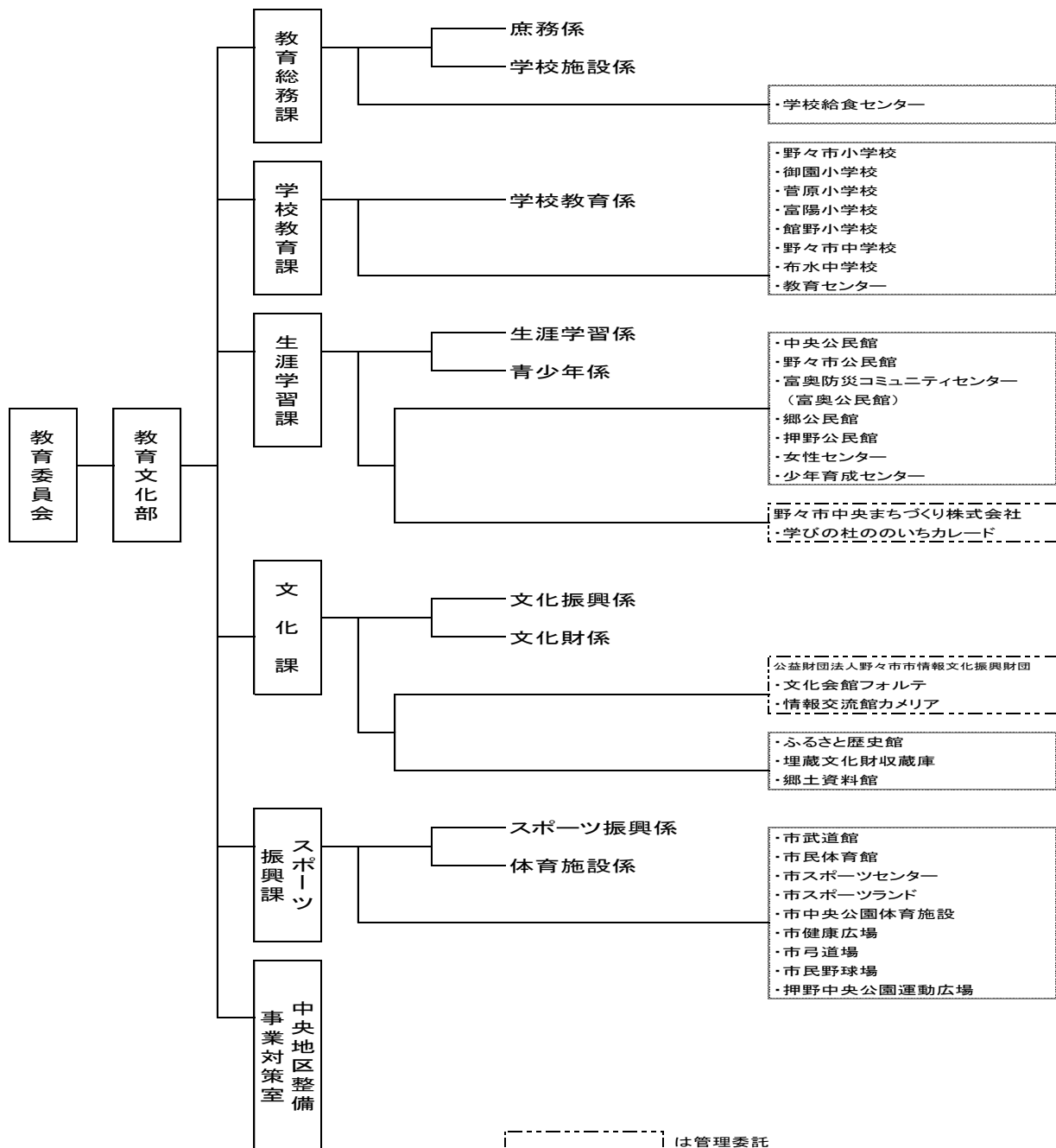
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成30年3月31日現在）

<教育委員会>

| | | | |
|-------|-----------|----------|---------|
| 教 育 長 | 堂 坂 雅 光 | 教育長職務代理者 | 松 野 勝 夫 |
| 委 員 | 荻 野 直 子 | 委 員 | 松 本 哲 幸 |
| 委 員 | 宮 川 美 保 子 | 委 員 | 安 嶋 是 晴 |

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

E メール： kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp